

ルールを守って 交通安全

昨年、南区内では663件の交通事故が発生。886人がけがをし、11人が亡くなっています。被害者だけでなく、多くの人に悲しみをもたらす交通事故。どうしたら防ぐことができるのか？交通安全について考えてみませんか。



南区は死亡事故が多い！

下表は、札幌市の過去三年間の交通事故発生状況です。この表から、南区は他区に比べ交通事故発生件数が少ないにもかかわらず、例年のように死亡事故が多発していることが分かります。

「死亡事故は夜間に起きやすく、昨年度内でも起きた死亡事故十一件のうち七件が国道230号・453号での事故で、交通量の少なくなる郊外部でのスピードの出し過ぎ、脇見運転などが原因とみられる衝突事故が大半を占めています。また、歩行者の事故は二件。いずれも高齢者が横断歩道以外の場所でも道路を横断している時に起こりました。夜間は速度と距離の感覚がつかみづらくなりますので、外出時にはより十分な注意が必要です」と話すのは、南警察署交通第一課の佐藤裕則課長です。

「死亡にまで至らなくても区内では一日当たり約二件の人身事故が起き、二〜三人がけがをしています。事故の多くは、午前八時〜十時、午後四時〜六時の通勤・通学の時間帯に交差点やその付近で起きています。事故の原因は、自動車側・歩行者側ともに前方不注意や安全不確認、信号無視によるものが多くみられます。

札幌市の交通事故発生状況（平成12～14年）

	札幌市			南区を除く9区の平均			南区		
	発生件数(件)	負傷者数(人)	死者数(人)	発生件数(件)	負傷者数(人)	死者数(人)	発生件数(件)	負傷者数(人)	死者数(人)
12年	12,410	14,942	66	1,292	1,547	6	786	1,015	13
13年	12,311	15,020	70	1,283	1,557	7	767	1,008	11
14年	11,793	14,462	76	1,237	1,509	7	663	886	11

もちろん、それ以外の場所や時間に起こる事故もありますが、そのほとんどが一時停止や安全確認など、少しの注意で防げるものです。加害者にも被害者にもならないためには、まず一人ひとりが基本的な交通ルールを守ることが必要です」と佐藤課長は話します。



南警察署交通第一課
佐藤裕則課長

高齢者の道路横断中の事故が多発!!

高齢者は横断に時間がかかるうえ、後続車を見落としがちです。遠回りでも近くの横断歩道を渡ることが安全への近道です。近くに横断歩道がないときは、見通しの良い場所で。横断中も安全確認をしっかりと行いましょう。また、ドライバーから歩行者が見えているとは限りません。夜間は明るい服装や夜光反射材の着用を心掛けましょう。



スピードの出し過ぎが命を落とす大惨事に!!

スピードを出し過ぎると、カーブを曲がりきれずセンターラインをはみ出し、対向車に衝突するなど、大きな事故の原因となります。さらに、スピードの出し過ぎが事故の被害を大きくし、命を落とす危険性も。自分の運転技術を過信せず、決められた速度を守りましょう。



通勤・通学は、 時間と心に余裕を持って!!

「急いでいるから」と信号無視をしたり、安全確認を怠ったりすることが、交通事故につながります。時間と心に余裕を持って安全な行動を心掛けましょう。お互いが譲り合うことで防げる事故も多いはず。

